

演習番号	105	担当教員	稲村 一隆
当該ゼミに関連する文献を読んで 2000 字程度のレポートを提出。			
メールで kinamura@waseda.jp に 3 月 12 日までに提出。			

演習番号	107	担当教員	川岸 令和
杉田敦『デモクラシーの論じ方』（ちくま新書、2001 年）を読み、その後の日本および世界の政治状況を考慮に入れた上で、3,000 字前後でその内容を論評しなさい。			
自分自身で考察することが重要です。文書の書式は自由ですが、ワードプロセッサを用いて作成し、A4 判の用紙に適当な行間を保って印刷してください。			
面接時に提出。			

演習番号	108	担当教員	栗崎 周平
As part of the application procedure, you are required to write a brief statement of purpose and an short essay critiquing an article on suicide terrorism or the postwar apology by the Japanese government (or the lack thereof). For more information including the deadline and application procedure, please refer to the call for applications at http://www.f.waseda.jp/kurizaki/call-u-seminar.html .			

演習番号	114	担当教員	都丸 潤子
現在関心を持っている人の国際移動の事例（歴史的事例でも可）を 1 つ挙げ、関心を持った理由と、それが国際社会に与えている（与えた）影響について自分なりに考えられることを A4 に 2 枚以内でメールの添付ファイルで提出してください。引用については当然ながら出典注をつけること。			
3 月 12 日（火）午後 5 時までに j-tomaru@waseda.jp までメールの添付ファイルで提出（*を@に変えて送信）			

演習番号	1 1 7	担当教員	日野 愛郎
ゼミ選考の際に課題があります。過去のゼミ生（1期～5期）の卒業論文の中から1つを選び、その論文を2000字前後で論評してください。論文集は下記URLから入手できます（https://goo.gl/xm88Mj）。3月16日までに担当教員のメールアドレス（airo@waseda.jp）宛てに提出してください。			

演習番号	1 1 8	担当教員	福田 耕治
志望の理由とキャリアプランについて1000字以内で述べてください。			

演習番号	1 2 2	担当教員	谷澤 正嗣
------	-------	------	-------

2019 年度政治学演習復学者・EDP 学生選考

谷澤 正 嗣 ゼ ミ に つ い て

●出願の前に気をつけること

まず演習要項を熟読してください。質問や相談があれば、myazawa@waseda.jp まで遠慮なくメールください。

●さらに詳しいことが知りたい人は

選考の方針、参考図書、これまでのゼミでやったことなどについて知りたい人は、上記の谷澤のアドレスに、必ず waseda-net のアドレスから、「谷澤ゼミ資料希望」と件名欄に書いてメールを送ってください。添付ファイルで資料を送ります。メールはお早めに。

●選考課題について

選考課題（レポート）があります。掲示を確認してください。

以上

谷澤 正 嗣 ゼ ミ

2019 年度復学者・英語学位プログラム学生選考課題

次の二つの課題のうち、一つを選んでレポートを提出することを、出願の条件とします。提出しない学生は選考の対象としません。

ワードプロセッサを利用して作成しプリントアウトしたものを、選考の際に持参しなさい。書式は A 4 横書き、字数はいずれも 3000 字以上 4000 字以内。質問や相談は myazawa@waseda.jp まで。

〈課題 A〉

以下の課題図書を読んで、課題に答えなさい。

齋藤純一『不平等を考える』（ちくま新書、2017 年）

課題：課題図書の第 I 部を読み、著者の主張を 1500 字前後で適切に要約した上で、問題提起を行いなさい。その際、①提起したい問題は著者の主張のどの部分にかかわるのか、正確な箇所（頁）を引用し、明示しなさい。②どのような理由からその問いを提起したいのか、なぜその問いが重要であると考えなのか、第 I 部全体を考慮に入れながら詳しく述べなさい。

〈課題 B〉

政治理論に関する論点を含む任意の書物または論文を選んで読み、要約、論評しなさい。ただしこの課題を選ぶものは、事前に（出願書類を提出するよりも前に）選択する書物または論文についてメールで谷澤の承諾を得ること。

以上

演習番号	202	担当教員	荒木 一法
「荒木ゼミへの応募を検討する場合は、必ず3月7日までに kazaraki@waseda.jp までメールを送ってください。個別に選考方法を伝えますので、選考方法を確認してから正式に応募してください。			

演習番号	206	担当教員	荻沼 隆
ゼミで研究したいこと。そのためにどのような勉強をしてきたかを簡単にまとめること。			
面談に持参			

演習番号	214	担当教員	近藤 康之
申込用紙の「志望理由」欄には、ゼミで研究したいことも書いてください。 申込用紙の「研究計画」欄には、次の論文の要約を書いてください。 Behrens, P., Kieft-de Jong, J. C., Bosker, T., Rodrigues, J. F., de Koning, A., Tukker, A. (2017) Evaluating the environmental impacts of dietary recommendations. <i>Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America</i> 114(51), 13412-13417, https://doi.org/10.1073/pnas.1711889114 (学内環境でPDFファイルをダウンロードできます) 要約は次の4点が分かるように書いてください。 ・どのような社会・経済・環境の問題に取り組んでいるか？ ・主なメッセージ、結論は何か？ ・そのメッセージ、結論の根拠となる分析（計算）結果は、どのようなものか？（具体的な数値にも言及してください。） ・その分析（計算）結果を得るために、どのようなデータやモデルを用いたか？ MyWaseda で申し込む際に指定された欄に入力してください。			

演習番号	219	担当教員	中村 慎一郎
ゼミ希望者は、ライフサイクルアセスメント(LCA)について、企業の実施例を少なくとも一つ含むレポート(A4、4枚程度)を手書きで作成し、期日までに政治経済学部事務所へ提出してください。 Applicants are asked to write a hand-written report on life-cycle-assessment (LCA) including at least one example of its application by a company. The report should be submitted to the administration office in due time.			

演習番号	305	担当教員	清水 和巳
Thomas C. Schelling 教授のノーベル賞受賞講演“AN ASTONISHING SIXTY YEARS: THE LEGACY OF HIROSHIMA”を使用します。課題は以下の通りです。 「課題資料を読み、Schelling の“nuclear taboo”に対する考え方を要約した後、自分が Schelling のこの議論に関してどのように考えるか述べて下さい」 ☐希望者は資料を http://www.nobelprize.org/nobel_prizes/economic-sciences/laureates/2005/schelling-lecture.pdf から PDF でダウンロードしてください。 ☐字数制限は 9000~10000 字。原稿 A4 形式 40 字×30 行に設定してください。 ☐提出期限：3月8日午前9時（日本時間）までに、<skazumi1961@gmail.com>に添付ファイル形式で送付してください。 ☐比較経済制度分析を受講済みであることが望ましいです。 提出期限は：3月8日午前9時（日本時間）までに、<skazumi1961@gmail.com>に添付ファイル形式で送付してください。			

演習番号	307	担当教員	高橋 百合子
------	-----	------	--------

<Application for Seminar (Yuriko Takahashi)/ 高橋百合子ゼミ希望者へ>

Applicants will be evaluated by a short paper. No interview is scheduled.

ゼミ希望者の選考は、以下の課題によって行われます。面接はありません。

1. Read carefully the syllabus of this seminar posted on the CourseN@avi in order to understand the goal, expectations, and schedule of this seminar. For any inquiries, please contact Yuriko Takahashi at ytakahashi@waseda.jp.

応募前に演習要項を熟読ください。さらに知りたいことがありましたら、遠慮なく ytakahashi@waseda.jp までメールでご連絡ください。

2. Please submit a paper explaining (1) what kinds issues of emerging and developing countries you are interested in, (2) how you would like to address those questions, and (3) how your research will help build your future career **in one page (Times New Roman, 12pts, single-spaced)**. Be sure to write **your name and student ID**.

応募時に課題を提出していただきます。(1) 新興国・途上国のどのような問題に関心があるのか、(2) その問題についてどのように研究したいのか、(3) その研究が将来のキャリアにとってどのような意味を持つと考えるのか、の **3点について、A4 サイズ用紙 1 ページ以内**にまとめて、**名前と学籍番号を明記**の上、以下の要領で提出してください(日本語または英語)。

★Please submit your paper to the office of SPSE/ **提出方法**：事務所に提出。

★**Due**: 17:00 on March14 (Thursday), 2019/ **締切**：2019 年 3 月 14 日 (木) 17 時

演習番号	308	担当教員	多湖 淳
Please state your interest in international relations and specify what kinds of research questions you have at this moment. Also let me know your career plan. Send the information in PDF format with your full name.			
Email to Atsushi Tago by March 11 (0:00 JST)			

演習番号	312	担当教員	深川 由起子
以下の論文を読み、手順に従ってレポートを作成せよ。 Susan Lund and Laura Tyson(2018) “Globalization Is Not in Retreat: Digital Technology and the Future of Trade”, Foreign Affairs, May –June 2018 1)上記論文の主たる主張（世界貿易の構造変化）と論拠を簡単に要約せよ（下記書式で1枚手度） 2)日本が以下のような経済条件を持つと仮定した場合、1)は日本の経済にとってどのような影響を持つと考えられるか、具体的 考察せよ。主要な論点には簡単な論証を添付すること。 論証データについては出所その他を必ず明記すること（道場、2・3枚程度） ①経済成長に対する貿易の寄与度増大 ②直接投資を通じてアジア太平洋全体に大きく広がったサプライ・チェーン ③相対的に遅れた国内のデジタル化 3)2)について政策的な対応（正の影響最大化、不の影響最小化）にはどのようなものが考えられるか、列挙せよ（同上1・2枚程度） *レポート作成要領：A4サイズに40字×36行×4・5枚、学生番号、氏名、参考文献リストを必ず付けること。			
提出先：fukagawa@waseda.jp			

演習番号	403	担当教員	高橋 恭子
タイトル「私のメディア・アクセス」 最新ニュースをどのように入手するか。どのようなメディアを通じて、どのような情報を収集するか。メディア・アクセスについてのプレゼンテーション 5分を準備してください。			
提出先：メール kyt@waseda.jp			

演習番号	406	担当教員	中村 理
当ゼミを希望される方は、3つのうちいずれか1つを USB メモリに入れて、当日に持参してください。面談の場で3～5分ほど簡単にプレゼンしてもらえればと思います。面談はおよそ20分前後です。 (1) ゼミ研究で取り組みたい課題／今持っている問題意識（できれば ppt で持参してもらえればと思いますが、難しければ word か pdf でも可です。この場合は基本的には申込用紙に記す内容を発表形式に組み立ててもらえればOKです。その課題について少し下調べもしてもらえとなお良いでしょう。)(2) 早稲田大学に入学してからあなたが作成した授業レポートまたは発表資料等のうち、あなたが見せたいと考えるもの。(提出済のものを作成しなくても OK です。メディア関連でなくても OK です。どれを選ぶかという理由は、自分の問題意識を見せたい、自分が熱心に取り組んだ、分析がうまくいった、チームワークに大きく貢献したなど、なんでもかまいません。)(3) 授業外であなたが作成したレポートまたは発表資料のうち、今後のあなたのゼミ活動を教えてくれそうなもの。(サークルやウェブ上での発表物など、形式は問いませんので広く捉えてもらって結構です。どれを選ぶかという理由は上に同じです。)			

演習番号	505	担当教員	本野 英一
申請した理由と卒業後の人生計画			